

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
相模川沿川地区

平成25年11月

神奈川県海老名市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	安全・安心に対する満足度	%	29	35	37.1	確定 見込み ●	○	あり なし	36.3	H25年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市道改良や浸水対策、地域の避難拠点における防災機能の強化が図られたことにより、安心・安全に対する満足度が高まった。
指標2	海老名運動公園の利用者数	人/年	93,000	93,000	100,600	確定 見込み ●	○	あり なし	108,402	H25年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	海老名運動公園周辺の道路ネットワークの拡充やJR社家駅からの歩行者のアクセス向上、住民参加により選定した海老名運動公園の大型遊具の設置等が図られたことにより、個人利用者数は増加傾向に転換された。
指標3	拠点間ルート of 安全率	%	76	100	100	確定 ● 見込み	○	あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	海老名運動公園とJR社家駅間を徒歩で移動する場合の安全で快適な主要経路が確立された。
指標4	生活の便利さ・満足度	%	50 (53)	50 (53)	50	確定 見込み ●	○	あり なし	46.6	H25年9月	△	市政アンケートに係る調査項目の一部が変更(調査項目の細分化)になったため、確定値と評価値等との比較は難しいが、文化・スポーツ施設の整備に関する部分で満足度の維持につなげることができなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値よりも低い水準ではあるが、市政アンケートの調査項目に変更がなかったものについては満足度が上昇しているため、道路ネットワークの拡充等による効果が表れているものと評価できる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	JR社家駅の1日あたりの乗車人数	人/日	1,539	/	1,825	確定 見込み ●	/	/	1,928	H25年9月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	JR社家駅周辺の道路環境の向上が図られたことにより、鉄道利用による海老名運動公園利用者の増加につながっていること等が要因と考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	ハード系の取り組み	各種維持修繕事業の実施	・事業によって整備された道路や公園、雨水排水路等の基盤施設の適正な維持管理を図った。	適切な維持管理の継続
	ソフト系の取り組み	海老名市道路里親制度の実施	歩行者空間の日常的な維持管理に加え、プランターの設置等による緑と潤いのあるまちなみの創出など、地域住民が主体となったまちづくり活動の推進を図った。	なし
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	渋滞対策及び生活道路等の交通環境の向上	・市道53号線歩道設置等整備事業を社会資本総合整備計画の関連社会資本整備事業に位置付けた。	・市道53号線歩道設置等整備事業を社会資本整備総合交付金事業として実施	なし
	自然災害に対する対応力の強化	・地域防災計画の改定及び自主防災組織への支援	地域住民のコミュニティの活性化を通して、自助・共助の意識と災害対応力の向上を図った。	なし
	自然環境と調和する都市環境の形成	(仮称)中野公園施設整備事業を社会資本総合整備計画の関連社会資本整備事業に位置付けた。	・(仮称)中野公園施設整備事業を社会資本整備総合交付金事業として実施	なし
	住民主体のまちづくり活動の活性化	・海老名市立えびな市民活動センター設置条例の制定 ・市政に幅広く提言、意見を発信できる人材と、生涯学習を通じて地域で活躍できる人材の育成をめざした、(仮称)えびな市民大学の開校準備を開始	・海老名市立えびな市民活動センター((仮称)市民活動支援施設)において、指定管理者制度を導入(指定管理者の公募に係る準備を開始) ・(仮称)えびな市民大学設立検討委員会の設置	なし

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
なし			